



NiFA NEWS



「夢」をテーマに 未来に託す

10月29日

新潟スタジアムに新シンボル完成！



ワールドカップ10周年事業 サッカー記念像除幕式

今年、ワールドカップ開催から10周年を迎え、当協会としては5つの事業を計画してきました。

1. 6月2日 「U-10県大会」
2. 6月9日 「サッカーJam ビッグスワン大会」
3. 6月17日 「基調講演とパネルディスカッション」
4. 6月30日 「U-10全国大会 (韓国チーム含む)」
5. 10月29日 「サッカー像除幕式」

サッカー像は(社)新潟県サッカー協会が「新潟スタジアム・医科学センター前・カナル広場」に建立しました。

除幕式当日は、来賓として聖籠町町長・渡辺廣吉様をはじめ、新潟県・若杉課長、新潟市・笠原課長、アルビレックス新潟・田村社長など関係機関の皆様、それに像建立にあたりエンブレム製作にご協力いただいた曙産業・大山会長、七宝焼きの枝村左門様、石像製作の福宝・石塚社長

などのご来臨をいただき、製作に携わった皆様に感謝状が贈呈されました。

さらに当協会から馬場名誉会長、澤村会長、役員・理事各位の参列のもと盛会に除幕式が挙行されました。

像は写真のとおりですが、高さ3m15cm、幅1m50cmの大きさで、像自体も2色の御影石を使用しどっしり感があります。

この新潟スタジアムでワールドカップが開催されたことを記念し、青少年に確かな未来を託すとともに、スポーツマンシップとフェアプレーの精神を醸成してもらうことをねらっています。

像は子供と大人をイメージしています。子供たちがスポーツ、とりわけサッカーに親しみ楽しく動き回ると、それを大人がやさしく見守り導いていき、将来、社会人やプロを目指したいという「夢」をもって道を進み、実現してほしいということを意味しています。

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献したいと願っております。

新潟スタジアムを訪れるサッカーファンミラー、カナル広場を散策する県民の憩いのシンボルとしてこれからも注目されることと思います。

去る9月30日より、岐阜県において第67回国民体育大会「岐阜清流国体」が開催され、本県は少年男子、女子の2種別が北信越国体を突破し本大会に出場しました。はじめに、各方面において強化活動にご尽力、ご協力いただきましたすべての皆様に感謝とお礼を申し上げます。

ときめき新潟国体の総合優勝より3年、その後の強化活動においては様々な課題が浮き彫りとなつて来ているように感じられます。以下、それぞれの種別においての成果と課題を今回の結果とあわせて簡単に述べさせて頂きます。

少年男子は1回戦、福岡県と対戦し5対1で敗退しました。点差ほどの差はありませんでしたが、やはり個々の技術、戦術、フィジカルの面でトップと比べると見劣りがします。また、ゲーム状況の中で攻守両面における判断、例えば攻撃であれば速攻なのか一旦ボールを落ち着かせて幅を使いながらビルドアップを図るのか、相手がリトリートし守

備ブロックが形成されています。女子委員会とチームとして個人とチームとの状況に合わせ多様にプレーを選択していくことがまだまだ出ていません。これからはジュニア年代から一貫した指導の中で獲得させて行かなければならない問題であり、今後のトレセン活動などにフィードバックしなければならぬと考えます。

女子は1回戦、延長の末大分県に1対0で競り勝ち、2回戦は昨年と同じ岡山県と対戦しましたが、2対1で惜しくも敗退しました。女子は技術・戦術・フィジカルのすべてにおいてまだまだ伸びしろがあるように感じます。少年と同様、いかにジュニアからの一貫指導で県として選手を育成していくかがカギだと考えます。また、中学校年代以降の受け皿の問題や指導者の確保、大学や専門学校、アルビレックスレディースと育成年代から育ってきている選手をいかにチームとして融合させていくかなど、多くの課題があります。

最後に、ワールドカップやときめき国体を契機に、飛躍的に本県のサッカーレベルが向上したことは間違いありませんが、「停滞は後退を肝に銘じ、今後も地に足を付けた強化を継続して行きたいと考えています。県の強化に関わるすべての皆様には、種別や連盟、地区を越えて「チーム新潟」のもと、今後ともご協力のほどよろしくお願い致します。

全国上位レベルへの チャレンジ!!

岐阜清流国体総評

技術委員長 丸山 有一

2年連続インカレ出場!! 新潟医療福祉大学

新潟医療福祉大学
新将 坂井 満月

私達、新潟医療福祉大学サッカー部は、平成17年4月本学健康科学部健康スポーツ学科設立に伴い、強化指定クラブとして活動をスタートしました。活

動拠点は大学近郊にある「聖籠スポーツセンター」です。同施設隣では、アルビレックス新潟トップチームも練習を行う刺激的な環境の中で日々のトレーニングを行なっています。平成20、21年度には北信越大学サッカーリーグ優勝し、2年連続で全日本大学サッカー選手権大会(以下：インカレ)の出場を果たしました。

今年度は夏に大阪府堺市で行われた総理大臣杯全日本大学サッカー選手権大会(以下：インカレ)にも初出場し、年間を通して行われた北信越大学サッカーリーグも3年ぶり3回目の優勝を果たすことができました。

優勝を勝ち取れた1つ要因として、夏に出場した総理大臣杯をベンジへ!がチームの合言葉になり、練習

たことが大きいと私は感じています。総理大臣杯では九州第1代表の福岡大学と1回戦で対戦し、0対4と全国との差を痛感する試合となりました。その敗戦は、北信越地区、そして新潟県の大学として全国の強豪大学と対戦する機会を得ることができました。



北信越ガールズエイトU-12 FC五十嵐ガールズ優勝!! 全国大会へ

FC五十嵐ガールズ
監督 三条 正道

この度FC五十嵐ガールズU-12は、9月に開催された第10回JFA北信越ガールズエイト(U-12)サッカー大会にて、1位

取めることができました。毎年参加している大会ですが、チーム創立6年目にして初の頂点に立つ事は決して楽ではなく非常に厳しい状況でした。大会前に主力選手が骨折も

うひとりGKが足を痛め本調子ではなかった事。そして、1試合目にセンターバックの選手が後方からタックルを受け筋断裂し、プレーができない状況となっていました。半ば諦めかけました。

しかし、いつもはベッチャーからようやく開き、自分にも選手も相

たことが大きいと私は感じています。総理大臣杯では九州第1代表の福岡大学と1回戦で対戦し、0対4と全国との差を痛感する試合となりました。その敗戦は、北信越地区、そして新潟県の大学として全国の強豪大学と対戦する機会を得ることができました。

習試合や北信越大学リーグ後期戦を通してチームとして完成度を高めることに成功しました。その結果、再び全国大会への切符を獲得することができました。

12月19日に1回戦を迎えるインカレでは関東や関西、そして各地域の強豪大学との対戦となり、夏の経験を活かして北信越

子ども達そしてチームに関わるすべての人達がいつも笑顔でいられているように!チームコメントはエンジョイフットボール!!この事を忘れずに2月に行われる全国クラスの大会に挑んでいきたいと思

今年度より、ホーム&アウェイ方式となった北信越リーグ。計18試合を伴うアウェイでの移動を伴うアウェイでのゲーム。日程的にもハードといえるリーグ戦を勝ち抜き、全国大会に出場できることは、選手・スタッフ共に自信となりました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その成果として意志のあるサッカーができ、高円宮杯では4試合を通して自分たちのドリブルとパスで崩して得点するサッカーができました。

高円宮杯第24回全日本ユースU-15サッカー選手権大会(北信越) 県内2チームが 全国大会独占出場!

北信越U-15リーグも入り、県内チームが上位を占めるなど目覚ましい活躍で信越大会優勝の「グランセナ新潟FC Jr

アルビレックス新潟

ジュニアユース監督 岡本 歴大

今年、高円宮杯全国大会に出場するにあたり、たくさんの方にご支援をいただき、心より感謝しております。

今年度より、ホーム&アウェイ方式となった北信越リーグ。計18試合を伴うアウェイでの移動を伴うアウェイでのゲーム。日程的にもハードといえるリーグ戦を勝ち抜き、全国大会に出場できることは、選手・スタッフ共に自信となりました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。

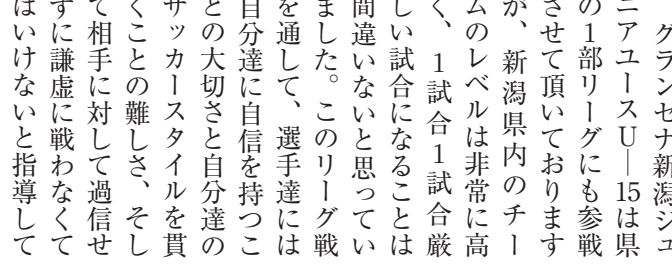
前日のミーティングにて「意志のあるサッカーをして勝つ」を合言葉に10月13日・14日に行われる高円宮杯新潟県大会に出場いたしました。

その結果として11月23、25日に刈羽で行われる北信越大会に進むことになりましたが「油断とスキ」をつ

よくやってくれましたし、とても素晴らしいと思います。本当に子ども達には感謝しています。

9月22日、23日にJFAガールズエイト(U-12)北信越大会で頑張りました。この大会で頑張りました。

最後にになりましたが、全国大会では新潟県の代表として、自覚と誇りを持って、戦ってきたと思います。



新潟日報杯争奪 第17回新潟県女子サッカー選手権大会

優勝

U-12の部・五十嵐ガールズ 一般の部・アルビレディース

新潟日報杯を終えて

女子委員会 阿部 英敬

11月17日、18日、23日に、新潟日報杯争奪第17回新潟県女子サッカー選手権大会が開催されました。大会日はいづれも悪天候でしたがU-12の部には8チーム、一般の部には9チームのエントリーがあり、大会を盛り上げてくれました。年々女子の登録チーム数も増えてきて、それに伴い女子選手の技術レベル、チームとしてのレベルも徐々に上がってきています。女子チームはまだ普及段階ではありますが、参加したチームの選手からはどのゲームにおいても、素晴らしいプレーを見る事ができました。特にU-12の部、一般の部のそれぞれの決勝戦では、随所で輝くプレー、チームメ



一般の部



U-12の部

も混ざって楽しそうに選手同士話す姿を見て、『サッカーをして楽しかった』と感じているのが伝わりました。運営をしていてそれほど嬉しいことはありませんが、それは新潟日報社様はもちろん、会場スタッフの皆様、審判団の皆様、保護者の皆

様、そして何より参加してくれた選手とチームスタッフ、女子チームに携わる皆様のおかげと考えています。ありがとうございました。今後とも女子チームの普及と、レベルアップにご協力をお願いします。

平成24年11月23日(金)祝第17回新潟県女子サッカー選手権大会(U-12の部)(兼第12回新潟県女子U-12 8人制サッカー大会)



U-12の部



一般の部

高円宮杯U-18 サッカーリーグ 2012

プリンスリーグ北信越 第1部結果(本県関係のみ)

アルビレックス新潟 ユース (12月15日に全国リーグ(プレミアリーグ)参入戦をガンバ大阪ユースと行い、勝利でプレミアリーグへ昇格、敗退でプリンスリーグ残留。)

3位 帝京長岡高校 (プリンスリーグ参入戦で敗退し新潟県1部リーグに残留。)

4位 開志学園JSC

5位 北越高校

7位 新潟工業高校

以上4チームが来年度プリンスリーグ北信越に残留。

第2部結果(本県関係のみ)

優勝 新潟西高校

準優勝 グランセナ新潟 FCガールズ

3位 新潟東Club Leggera

優勝 新潟日報杯争奪第17回新潟県女子サッカー選手権大会(一般の部)

来年度プリンスリーグ北信越(2部制廃止:1部のみ10チーム編成)に残留。

新潟明訓高校

入戦で敗退し来年度は新潟県1部リーグに降格。

3位 長岡向陵高校A (プリンスリーグ参入戦で敗退し新潟県1部リーグに残留。)

4位 東京学館新潟高校

5位 新潟高校A

第15回ジャパンユースinニイガタ・サッカー大会2012

平成24年8月8日(水)11日(土)

優勝 金光大阪高等学校

準優勝 アルビレックス新潟 ユース

3位 JAPANサッカーカレッジ

上田ジェンシャン

第48回全国社会人サッカー選手権大会北信越大会

平成24年8月3日(金)5日(日)

長野県松本平広域公園球技場広域公園サッカー場

優勝 サウルコス福井

準優勝 上田ジェンシャン

3位 JAPANサッカーカレッジ

第7回北信越クラブユースサッカー大会

平成24年10月8日(月)

優勝 FC五十嵐JRY

準優勝 カターレ富山(富山1)

第20回新潟カップ新潟県少年サッカー選手権大会

平成24年10月27日(土)、28日(日)

優勝 新潟県少年サッカー選手権大会予選リーグ

北信越チャレンジリーグ2012

2012年度新潟県クラブユースサッカー連盟新人戦(U-14)兼2013年度新潟県クラブユース(U-15)サッカー選手権大会予選会

優勝 アルビレックス新潟ジュニアユース

準優勝 FC五十嵐ジュニアユース

3位 FC五十嵐ジュニアユース

高円宮杯第24回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会新潟県大会

優勝 グランセナ新潟FC

準優勝 FC五十嵐JRY

3位 アルビレックス柏崎 ユース

第7回北信越クラブユースサッカー新人大会

平成24年10月8日(月)

優勝 FC五十嵐JRY

準優勝 カターレ富山(富山1)

北信越チャレンジリーグ2012

新潟県少年サッカー選手権5年生予選リーグ

平成24年10月27日(土)、28日(日)

優勝 阿賀野川水辺アラザ

準優勝 FC大和ジュニオール

3位 FC Aganoジュニア

長岡JYFCU-12

FC Aganoジュニア

第22回全日本少年フットサル大会新潟県大会

平成24年11月11日(日)

優勝 上越市柿崎総合運動公園

準優勝 下越JFC

3位 ヴェールメリオB

アルビレックス新潟ジュニア

しんきんカップ第10回新潟県キッズサッカー大会

優勝 アルビレックス新潟ジュニア

準優勝 FC五十嵐ジュニア

3位 エスプリ長岡FC

c.l.u.b F3

第3回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会

平成24年度10月21日(日)

優勝 新潟市湯東体育館

準優勝 グランセナ新潟FC

3位 ヴェールメリオA

フェニックス・リーグc

長岡Joias

新潟県少年サッカー選手権5年生予選リーグ

優勝 山潟イレブン

準優勝 c.l.u.b F3

フェニックス・リーグd

優勝 エル・オウロUK

準優勝 セントヴィゴレEAST

3位 フレンドリー・リーグe

優勝 ラ・プラタUK

準優勝 春日SSS

フレンドリー・リーグf

優勝 頸北リベルタ

準優勝 南浜ダッシュヤーズ

3位 ヴェールメリオA

フェニックス・リーグc

NiFA マスタープラン 2007 スタート

(社)新潟県サッカー協会は、英語名: Niigata Football Association の略称を従来のNFAからNiFAに変更し、これを「ニファ」と読みます。

また、新たなスタートを切るNiFAを象徴するシンボルマークを作成。4本の翼は新潟、上越、中越、下越の4地区協会を表し、新潟県の形も示しています。そして4地区協会の飛躍による新たな新潟のサッカーをGOALに向かうサッカーボールで表現しました。さらに濃いブルーは新潟の空と海、地域に根ざしたNiFAを表しています。NiFAはさまざまなシーンでこのシンボルマークを使用していきます。

NiFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、県民の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

NiFAのビジョン

- 新潟県におけるサッカーの普及に努め、全ての県民がサッカーに親しむ環境を作り上げる。
- 他の競技団体と連携し、スポーツをより身近なものとする事で、県民の健康で豊かな生活をサポートする。
- 新潟県を代表するチームが日本のトップレベルで活躍できるようにサッカーの強化に努め、新潟県出身プレーヤーが国内外で活躍することで、県民に勇気、希望、感動をもたらす。
- 常にフェアプレーの精神を持ち、国内外の人々と友好を深め、社会に貢献する。

NiFAの目標 2015

2015年には、健全でゆるぎない組織となり、6つの目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが8万人となる。
- リーグ、リーグに新潟県出身プレーヤーを合計で10人以上輩出し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出する。
- 各カテゴリーの全国大会において、新潟県チームのいずれかが常にベスト4以上の成績を修める。
- JFLに加盟するチームを育成する。
- 各カテゴリーの全国大会、国際試合を誘致、運営する。

NiFAの目標 2050

2050年に向けて、組織基盤をさらに強固なものとし、2050年までに以下の目標を達成する。

- 新潟県内のサッカーファミリーが15万人となる。
- リーグ、リーグに新潟県出身プレーヤーが合計10人以上存在し、日本代表フル代表、年代別代表等に選出される選手を輩出し続ける。
- 日本でFIFAワールドカップが開催される際には、サッカー専用スタジアムで試合を開催する。



各地区協会訪問会議 組織・体制強化、普及・強化活動が活発に！

専務理事 渡辺 滋

上越・中越・下越地区協会の訪問会議が下記の日程で開催されました。

- 下越地区：10月26日（金）豊谷殿
- 上越地区：11月16日（金）レインボーセンター
- 中越地区：11月22日（木）パストラル長岡

各会場ともそれぞれ取り組み方向が明確に示されました。役員ならびに地域から副会長、担当者が集まり、現状と課題について熱心に討議が展開されました。

今年度は県協会から組織機構（専門委員会を含む）、役員構成、種別・地域報告・課題・対策等の報告書式を示し、当日の会議資料とし、各地区的整合性、比較が容易にできるようお願いしました。

特に事業のベースとなる種別ごと、地域ごとの具体的な取り組みと実施結果、課題・対策を中心として報告されました。

それに基づき県協会の会長、副会長、専務理事を交えた今後の具体策が話され、今後の



種別ごとの事業展開では、各地区とも規模の大小はありますが同じ悩みを抱えていることがわかり、県全体の取り組みも重要であるとの共通認識ができました。

訪問会議の結果を各委員会、連盟等に問題提起し対応策を検討してもらおうと、その中から理事会で対応策が決定され、来年度予算に反映できればと思っています。



地区協会関係者の皆さん

待望のクラブハウス完成 U-19日本代表キャンプ

十日町市サッカー協会
理事長 若山 裕

10月22日から27日、ハウスが完成しました。4チーム同時使用可能なロッカー室2012に向けたキャンプが行われました。テラスは試合観戦が可能で、3000人収容のスタンドも取り、国内最終調整のため、空気の張りつき、更なる利活用を目的としております。

「夢は見るもの、そして夢は叶えるもの」を合言葉に、更に充実した施設整備が図ればと思っております。近い将来の日本代表がこの地域から生まれることを夢見て。



JENESYS プログラムに参加して...

審判員 小見 佑貴

7月21日から29日までカンボジアにユース審判派遣として参加させていただきました。そのために、自分の今の力をしっかりと発揮したいと考えていました。

カンボジア国内リーグの副審を担当させていたため、「現地の環境に適切に、90分間一貫したレフェリングをする」とも目標にしていた。現地の気温は35℃を越えていたことに加え、ホテルの温度は20℃に設定されていたことで、温度差が激しく体調管理が大切になっていった。また、水の問題や治安の問題もあり常に様々なことを配慮しながら活動となった。

JFAアカデミーの選手が参加することになったが、カンボジアで元Jリーグ審判員の唐木田徹氏が審判育成をされているというところで、第35回全日本少年サッカー大会の準決勝の主審を務めさせていただいた私がユース審判派遣として参加することになった。



審判員は私1人だったため「コミュニケーション」が大きな課題になっていった。現地では英語を完璧に話すことができていた。私は苦手だったため英語で完璧に話すことはできなかつたが、様々な伝達手段を利用しコミュニ



ケーションを取った。トレーニングや試合前のミーティングなど大切な場面でもコミュニケーションを上手にとるために語学力をもっと高めなければいけないと感じ、カンボジアの審判員の語学力は良い刺激となった。

カンボジア代表チームの練習試合の副審を国内リーグ前日に務めた。たたくさんの人の前で緊張し上手く話せなかつたところも多かつたが、良い経験となった。

今回の派遣で自分の夢をより明確にし、そのために何をしなければならぬかを具体化することができた。自分の夢とは「国際主審」になることである。国際と言うことで、世界中の様々なところを舞台に審判をしたいと考えている。国際副審の八木さんからお話を伺い、世界で活動することの大変さは教えて頂

く、外国人選手に負けられないスピードを身につける必要があると感じた。しかし、前日の試合でイメージ（準備）ができていたためオフサイドの判定はしっかりとでき、アセッサーの方からは「wait & see」ができていたと評価を頂きました。その晩は審判員のみならず夕飯を食べに行き私生活についてなども話すことができ、最初にあった不安も消え、冗談を交えながら有意義な時間を過ごすことができました。翌日はレフェリーを積んでいきたくて、クリニックに参加させていただいた。ここで私はプレゼンターになっており、審判活動や私生活、大学事、日本や新潟のことを紹介した。準備をしたものの、たたくさんの話の前で緊張し上手く話せなかつたところも多かつたが、良い経験となった。

新潟から世界へ!! 代表選手続々誕生

- 2014 FIFA ワールドカップ U-19 AFC U-19 選手権 U-16 日本代表候補
- アジア最終予選オマーン戦出場 UAE2012出場 トレーニング沖縄キャンプ
- 酒井 高徳 (新潟県出身・ドイツ・シュツットガルト)
- 川口 尚紀 (アルビレックス新潟ユース)
- 山本 隼平 (北越高校)
- 大桃 海斗 (長岡JYFC)

We are ONE!

J1 残留

サポーターと奇跡を起こす



12月1日(土) 東北電力ビッグスワンスタジアム
アルビレックス新潟 (4 - 1) コンサドーレ札幌

勝へ進出することができ、初めから2位の結果を残し、初の準決勝へ進出することができた。夏以降、徐々に手応えをつかみはじめ、カップ戦におきましては、5チーム中2位の結果を残し、初の準決勝へ進出することができた。夏以降、徐々に手応えをつかみはじめ、カップ戦におきましては、5チーム中2位の結果を残し、初の準決勝へ進出することができた。

強化部 榎本 恵子
日頃よりアルビレックス新潟レディースの活動にご声援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。
アルビレックス新潟レディースは2004年より日本女子サッカーリーグ(なでしこリーグ)へ参戦し、今年で9年目となります。シーズン序盤に昨年の主力選手が怪我により長期離脱をせざるを得なくなり、苦しい時期もありましたが、力をあわせてリーグ戦を戦ってまいりました。夏以降、徐々に手応えをつかみはじめ、カップ戦におきましては、5チーム中2位の結果を残し、初の準決勝へ進出することができた。

今シーズンはJ1昇格以来最も苦しい戦いが続いた。あきらめかけたチームを救ったのは日本一のサポーターであり、柳下監督の手腕と言える。地域に根ざしたチームとして全国に誇れるアルビレックス新潟は今や新潟県の宝である。チーム発足以来どれ程県民に夢と感動を与えてくれたことか計り知れない。
これからも県民から愛される俺がチームとして更に成長してもらいたい。
協会としてもこれまでと同様アルビレックス新潟との一体感を大切にし全面的に支援していきたい。
来季こそは県民の願いである優勝を目標にし上位進出に期待したい。



試合終了後のセレモニー 柳下監督

アルビレックス新潟レディース

また、リーグ戦後半におきましては、3勝4分2敗と勝ち越し、最終的に6勝5分7敗の5位という順位で締めくくることができました。1人1人が逞しく成長してくれたおかげであると思っております。



地区協会だより

新たな挑戦!!

中越地区サッカー協会

理事長 野口 光一

日頃、中越地区サッカー協会の活動に対し、ご理解、御協力いただき誠に有難うございましたとの意見も頂きます。本年度より、中越地区が、4地区(長岡、三条、柏崎、魚沼)に、支部を作り、支部から2人の代表を選出し理事を決定しました。フットサルは、各町村のサッカー協会へと、より連携を強化する組織作りを行いました。各支部から会長、副会長を選出し各地区から事業に対しご協力をいただいております。環境に対しても、長岡に1面、「来季1面」、柏崎に2面と人工芝のサッカー場が、北信越、県リーグなどが行われております。又、市町村で、リーグ戦などを行っている1種未登録チームを対象に、中越地区4地区推薦でサッカー(8チーム)、フットサル(8チーム)中越地区チャレンジリーグを行います。普段地区で行っているローカルルールではなく、レギュレーションを上げ実施した生活の一部として皆さ

新春・講話とトークショー

期日 平成25年1月20日(日)
午後1時~6時30分
会場 ホテルイタリア軒
3階「サンマルコ」

1 講話会(午後1時30分)

『佐々木なでしこジャパンの新たな挑戦』
講師 サッカー解説者 川上 直子氏

『ザックジャパンブラジルW杯の行方とアルビレックスに期待するもの』
講師 サッカー解説者 早野 宏史氏

2 トークショー(午後3時)

『世界のトップをめざす代表強化と更なるサッカー文化の構築』
講師 日本サッカー協会 専務理事 田中 道博氏

3 懇談会(午後4時30分)

『Jリーガーなど、選手の手育成も良い方向に進んでいます、今回高校サッカー選手権で帝京長岡高校が県代表になり全国での活躍が期待されます。これも日頃一重に関係者の熱意と感ぜられます、今後ともご指導、ご鞭撻よろしくお願いいたします。』
講師 サッカー解説者 川上 直子氏



スマイル&チャレンジ

当協会にご支援いただいている法人各社

TONYテレビ新潟 BSN新潟放送 新潟日報
東北電力 総合生協 新潟県信用基金協会

2007年宣言の実現のため諸事業に取り組んでいます!!